

第1回農業委員会委員の定数及び任期等検討小委員会会議結果報告書

開催日時	平成16年12月23日(木) 9:30~12:15					
開催場所	古川合同庁舎 大会議室					
委員の出欠 出席者 欠席者×	委員長 (古川市農業委員会会長)	森谷 尚生		委員 (鳴子町住民代表)	菊地 美恵子	
	副委員長 (田尻町住民代表)	加藤 節幸		委員 (田尻町住民代表)	白旗 茂典	
	副委員長 (岩出山町農業委員会会長)	大沼 洪悦		委員 (古川市農業委員会委員)	鈴木 悟	
	委員 (古川市住民代表)	石村 明美		委員 (松山町農業委員会会長)	佐藤 晃	
	委員 (古川市住民代表)	米城 夏江		委員 (松山町農業委員会委員)	渡邊 栄喜	
	委員 (松山町住民代表)	小原 文夫		委員 (三本木町農業委員会会長)	相沢 叡	
	委員 (松山町住民代表)	佐藤 信藏	×	委員 (三本木町農業委員会委員)	小関 芳樹	
	委員 (三本木町住民代表)	佐々木 賢司		委員 (鹿島台町農業委員会会長)	岡本 安吉	
	委員 (三本木町住民代表)	寺澤 道子		委員 (鹿島台町農業委員会委員)	高埜 仁	
	委員 (鹿島台町住民代表)	阿部 雅良		委員 (岩出山町農業委員会委員)	佐藤 佑	
	委員 (鹿島台町住民代表)	中條 勲		委員 (鳴子町農業委員会会長)	上野 忠志	
	委員 (岩出山町住民代表)	氏家 登志子		委員 (鳴子町農業委員会委員)	佐藤 博行	
	委員 (岩出山町住民代表)	鹿野 孝		委員 (田尻町農業委員会会長)	羽生 正明	
	委員 (鳴子町住民代表)	菅原 信朗		委員 (田尻町農業委員会委員)	千葉 哲弥	
				出席者27名・欠席者1名		
事務局	事務局長 佐藤吉昭 事務局次長 岡本 透, 千葉義明					
	財政班: 班長 金森 正彦, 主任 佐々木 雅一, 班員 遠藤 愛					
	計画班: 主任 赤間 幸人, 班員 高橋 健					
傍聴者	一般 2名 ・ 報道関係 名					
委員長の署名						

会議次第

1. 開 会
2. 開会あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 委員紹介
5. 委員長及び副委員長の選出について
6. 協議事項
(1) 農業委員会委員の定数及び任期等検討小委員会設置要綱(案)について
(2) 農業委員会委員の定数及び任期等の取扱いの変更について
7. その他
8. 閉会あいさつ
9. 閉 会

議事の概要

1. 開会
2. 開会あいさつ …… 大崎地方合併協議会会長 佐々木謙次
3. 委嘱状交付
4. 委員紹介
5. 委員長及び副委員長の選出について
協議の結果、委員長に古川市農業委員会会長 森谷尚生氏、副委員長に田尻町住民代表 加藤節幸氏、岩出山町農業委員会会長 大沼洪悦氏を選出した。
6. 協議事項
(1) 農業委員会委員の定数及び任期等検討小委員会設置要綱(案)について
原案どおり確認した。
(2) 農業委員会委員の定数及び任期等の取扱いの変更について
農業委員会委員の定数及び任期等の取扱いの変更を協議するにあたっては、第28回大崎地方合併協議会協議第86号で承認されたとおり「既に承認されている協定項目の調整内容を最大限に尊重する」ことを確認し、事務局より4つの選択肢(会議資料12～13ページのとおり)を示し協議した。
協議の結果、小委員会としては選択肢4の案(合併後に7つの農業委員会を置き、平成18年7月20日に2つの農業委員会に統合し、平成20年を目標に1つの農業委員会に統合する案)で意見を集約したが、結論を出す前に各農業委員会委員へその旨を報告することが必要であるとして、次回会議において最終的な結論を出すこととした。
各選択肢についての主な意見は次のとおり。
選択肢1及び選択肢2について
・「既に承認されている協定項目の調整内容を最大限に尊重する」という基本的な考え方から外れるため支持する意見はなかった。
選択肢3について
・合併期日が1年延期になったことを捉えれば、単純に1年スライドさせる選択肢3になるのではないかという意見
・選択肢3は5年間に3回、選択肢4は4年間に3回の選挙を行うことになり、選択肢3は比

較的，選挙に伴う負担が少なく済むという意見

- ・新市の農業委員会選挙を必ずしも統一選挙の時期に合わせる必要はないのではないかという意見
 - ・農家のことを考えれば，1つに統合するまでの期間は2年より3年の方が良いという意見
- 選択肢4について
- ・これまでの小委員会の議論の中で，平成20年の統一選挙を目標に1つの農業委員会に統合することが確認されており，そのことを踏まえれば選択肢4が適当ではないかという意見
 - ・統一選挙の時期に合わせて農業委員会系統組織の役員改選が行われる。大崎市は宮城県そして全国の農業をリードしてってもらいたい，県内の農業委員会のリーダーはぜひとも大崎市から出てもらいたいので，新市の農業委員会委員の選挙は，統一選挙に合わせるのが望ましいという意見
 - ・1つの農業委員会に統一するまでの期間が2年であったとしても，新市で2つの農業委員会が情報交換を密にすることで十分対応できるのではないかという意見
 - ・合併期日の変更によって大崎市誕生までの準備期間も1年延びていることも考えなければならないという意見
 - ・既に承認されている協定項目の調整内容を最大限に尊重するという基本的な考え方が一つのものさしになり，そのことを踏まえれば選択肢4が適当ではないかという意見

その他

- ・農業委員会等に関する法律が改正されたことにより，複数の農地部会を設置することが可能となったことから，7つの農業委員会を2つに統合するのではなく，最初から1つに統合して部会を複数設置することも考えられるのではないかという意見
- これまでの小委員会の議論の中で，広域合併の課題を解決するために段階を踏んで1つの農業委員会に統合するとした考え方を尊重する必要がある，また，部会の設置については新市で調整することとしているためここでの議論になじまないとして，事務局から示された4つの選択肢の中からより良いものを選ぶ方法で協議することとした。

7. その他

次回会議の開催については，平成17年1月5日（水）午前10時より，古川合同庁舎大会議室において行うことを確認した。

8. 閉会あいさつ …… 大沼副委員長

9. 閉会